

【目的】 第3セクター鉄道を地域における観光振興の主たる担い手として位置づけ、「観光立国・地域活性化」に貢献できる組織とするため、交通政策、観光政策、産業政策をパッケージにした新たな施策体系を提案する。

【背景】 全国の第3セクター鉄道の多くは観光地を路線としており、沿線の観光施設と連携して、鉄道の利用促進と観光振興を目的とした事業を展開しているが、老朽化した設備の更新等経営上の課題を抱えていることから、十分に機能を果たせていない。ICカードシステムの導入も進んでいない。

【目標】 リニモ及び愛環の沿線活性化 ・リニモ及び愛環の経営安定化 ・リニモ・愛環を活用した地域活性化モデルの構築

【評価指標及び数値目標】 リニモ及び愛環の1日当たりの利用客数 平成27年度 リニモ 21,000人 愛環 39,100人

## 【総合特区の対象区域】

名古屋市、岡崎市、瀬戸市、春日井市、豊田市、日進市、愛知郡長久手町（7市町）

## 【対象区域としての適合性】

リニモ・愛環沿線には、トヨタ博物館、愛・地球博記念公園、豊田スタジアム、岡崎城など著名な観光資源が多く、愛知県と沿線自治体による取組も充実。

## 政策課題

第3セクター鉄道を活用した地域活性化モデルの構築  
～「観光立国・地域活性化」に貢献～

### 【これまでの省庁連携制度の課題】

- ・中心となる省庁以外の省庁の関連施策の手続が独立して実施され、「集中支援」の実効性が低い。

### 【地域における観光振興の課題】

- ・国内外に向けた観光PRが主流で、鉄道、バス、観光施設、宿泊施設、地域産業等の「ネットワーク」構築に向けた取組が弱い。(ICカードシステムはネットワーク化にとって有力なツール)

### 【リニモ・愛環が抱える課題】

- ・リニモは、初期設備投資の減価償却費・長期借入金の返済等が経営困難の要因となっており、愛環は旧国鉄から譲りうけた鉄道設備等の更新を着実に実施する必要がある。
- ・リニモ・愛環ともICカードシステムの導入が進んでいない。

## 解決策

第3セクター鉄道を活用した新たな観光圏形成プログラム  
～交通政策、観光政策、産業政策をパッケージにした新たな支援施策体系～

### 【経営安定化支援】

- ・国補助制度(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)の対象事業の拡大(変電所等複数年に及ぶ事業を対象とする。)
- ・民間企業の第3セクター鉄道の株式購入費を同年度の当該企業の株式売却益から控除できる税制優遇制度の創設。

### 【ICカードシステム導入によるネットワーク形成支援】

- ・国補助制度(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)のICカードシステム導入費に対する補助率引き上げ
- ・ICカードシステム整備等機能強化事業向けの新たな3セク債の創設

### 【観光振興支援】

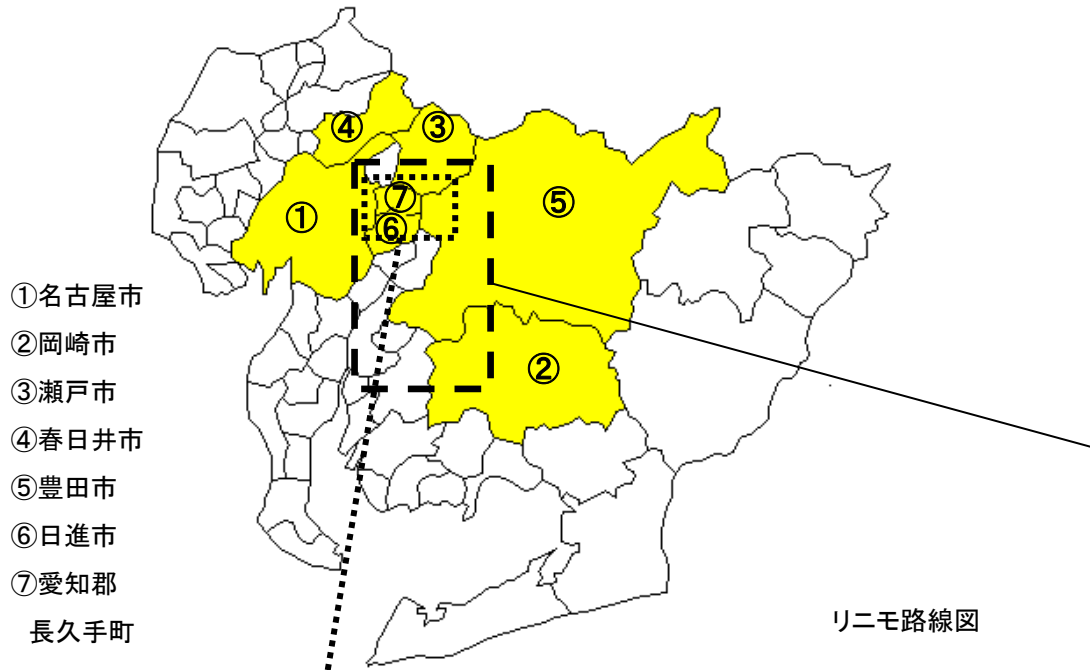
- ・国補助制度(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)の対象事業の拡大(観光イベントを対象とする。)
- ・観光地域づくりプラットフォーム、中小企業地域資源活用プログラムの総合特区枠創設(手続き簡素化、予算の別枠化)

## 鉄道会社・自治体の実施

### 【リニモ・愛環が実施する新たな特定地域活性化事業】

- ◆老朽化した鉄道設備の更新、バリアフリー化の推進等により、安定安全輸送の確保、機能強化を実現。
- ◆大手・中小の旅行会社との協力により、貸切りニモ、トヨタ博物館、愛知県陶磁資料館、豊田スタジアム、岡崎城など訴求力のある沿線の観光資源を活用した着地型旅行商品の造成及び沿線自治体とタイアップした観光イベント開催により国内外からの観光客誘致を推進。
- ◆ICカードシステムの導入により、利用客の利便性向上及び沿線の観光施設・企業との「横の連携強化」により、地域資源を活用した新たなビジネスを開発。

# リニモ・愛環沿線活性化特区の区域



愛知環状鉄道路線図

